

2026 年度
帝塚山学院大学奨学金のご案内
2 回生以上対象

帝塚山学院大学奨学金は、修学の熱意があり、学業成績
の良好な学生で、家庭の経済事情により、学費の支弁が
困難である学生に対し支給します。



出願締切日時：2026 年 8 月 24 日 (月) 16 時 50 分 ※厳守
提出先：学生課

帝塚山学院大学

・・申し込みについて・・

1. 出願資格

以下の条件を全て満たす者

- ① 本学2回生以上（本学での在籍年数が1年以上）であること。ただし、下記に該当する学生は出願できません。

- ・休学中の学生
- ・小野奨学会奨学金受給者、入試成績優秀者特待生、スポーツ推薦特待生、高等教育の修学支援新制度による支援を受けている者（授業料等減免およびJASSO給付奨学金の受給者）、学校法人帝塚山学院創立100周年記念奨学金2026年度1回目決定者及び過去に受給したことがある者
- ・編入1年目の学生

<注意!!>

高等教育の修学支援新制度（JASSO給付奨学金）を2次採用で申請予定の学生：帝塚山学院大学奨学金を申請することは可能です。ただし、高等教育の修学支援新制度（JASSO給付奨学金）の採用が決定すると、受給資格はなくなりますので注意してください。

- ② 修学の熱意があること。
- ③ 各学年終了時において下表の標準単位を修得していること（卒業所要単位のみ）。

【標準修得単位数】※卒業に必要な単位数は学科・入学年度ごとに異なる。

年次	卒業に必要な単位数が124単位の場合	卒業に必要な単位数が128単位の場合
1年次	31	32
2年次	62	64
3年次	93	96

- ④ 各学年終了時、累計GPA値2.0以上の成績を修めていること。
- ・転学生の出願は転学前に在籍していた学部・学科における標準修得単位数と累計GPA値を用いて判定します。

- ⑤ 下表の所得基準額以下であること。
- ・生計維持者（それに代わって家計を支えている者）と出願者本人（父母に扶養されている場合は除く）の令和8年度（令和7年分）の所得証明書の合計所得金額の総合計が次表の所得基準額以下の者（家族数は所得証明書の扶養人数と一致すること）。

家族数(人)	1	2	3	4	5	6	7
合計所得金額(千円)	2,000	3,900	4,500	5,100	5,700	6,300	6,900

※家族数が7人を超える場合は、1人増す毎に600千円を7人家族の総所得金額に加えてください。

2. 出願期間 2026年7月7日(火)～8月24日(月) 16:50 厳守
3. 提出方法 学生課の窓口へ持参又は郵送(締切日必着)。
※郵送で提出する場合は、書留やレターパックなど、配達記録が残る方法で送付してください。
4. 交付内容 授業料年額相当額の1/3支給(昨年度30万円)
5. 交付期間 1年間
6. 返 還 返還の義務なし
7. 募集人数 15名
8. 選考内容
1、書類選考
2、面接(約10分)
9. 出願書類
- ① **帝塚山学院大学奨学金願書**
・ 本学所定用紙。
・ 願書記入の注意事項および記入例(4～7ページ)を参照の上、記入してください。
- ② **所得証明書<原本>**
・ コピー不可。
・ 市区町村が発行した令和8年度(令和7年分)の所得証明書を提出してください。
・ 必ず、所得控除の内訳(配偶者控除、扶養控除、所得控除額等)が記載されているか確認してください。
・ 父母(またはそれに代わって家計を支えている者)は所得の有無にかかわらず、それぞれ証明書を提出してください。所得がない場合でも、所得証明書(あるいは非課税証明書)の提出が必要です。出願者本人に所得がある場合(父母に扶養されている場合は除く)、父母および本人の証明書が必要です。
- ③ **住民票<原本>**※マイナンバーの記載のないもの
・ コピー不可。
・ 世帯主および続柄の記載があり、生計を同一にする家族全員分が必要です。別居でも生計を同一にする家族であれば必ず提出してください。
・ 必要事項未記載、一部不足分がある場合は、再提出していただきます。

10. 選考と採用決定 選考：9月下旬～10月中旬 決定：10月下旬～11月上旬

- ・推薦基準を満たしている者の中から大学の選考委員会で選考し、採用を決定いたします。採用を決定した者には、「採用通知」を交付いたします。また、申込書類は返却いたしません。大学が責任をもって廃棄いたします。

11. 奨学金給付時期 11月27日

- ・奨学金は、秋学期学費等の一部として扱い、奨学金を差し引いた金額を学費等として指定口座（学費引落口座）より引落します。
- ・帝塚山学院大学奨学金を差し引いた金額は事前にお知らせいたします。

・ ・ 願書記入の注意事項 ・ ・

- ・ 黒のペンまたはボールペンで丁寧に記入してください。
- ・ 走り書きは認めません。丁寧に記入すること。
- ・ 書類は父母等記入欄以外、全て出願者本人が記入してください。代筆と判断した場合は受付いたしません。
- ・ 出願者、家族、父母等の氏名については住民票に記載のとおり記入してください（略字不可）。
- ・ 書き間違えた場合は修正液等を使用せず、訂正箇所にも二重線を引き、訂正印を押してください（ただし、出願者氏名および誓約書欄については訂正印の使用不可）。

(1) 「住所」欄

- ・ 現在居住している住所（願書記入日時点）を記入してください。
- ・ 家族と別居している場合は、家族住所欄に現在家族が居住している住所を記入してください。
- ・ 父母どちらかが単身赴任等をしている場合は、主に家族が居住している住所を記入してください。

(2) 「生計を同一にする家族」欄

- ・ 同居・別居を問わず、生計を同一にする家族全員を記入してください。
- ・ 本人と父母（またはそれに代わって家計を支える者）は「本人・父母等（家計を支える者）」欄に記入してください。父母どちらかが不在の場合は、その事由と発生した年月を記入してください。
- ・ 就学者は「就学者」欄に、それ以外の家族は「就学者以外」欄に記入してください。
- ・ 同一生計でない家族（同居しているが別生計の祖父母、独立している兄弟等）は記入不要です。
- ・ 前年と現在の生計を同一にする家族数が異なる場合（家族の就職等）、願書には前年の所得証明書の扶養人数と一致するように家族欄を記入してください。ただし、現在の扶養状況が分かるように、前年と現在の扶養状況が異なる家族の続柄欄をカッコ書きにし、備考欄にその理由を記入してください。
- ・ 「令和7年中の所得」欄は、市区町村発行の所得証明書に記載されている合計所得金額（収入金額でないので注意）を転記してください（合計所得金額がマイナスの場合は「0円」と記入）。父母および本人（父母に扶養されている場合は除く）の所得がある場合は全て記入してください。
- ・ 選考にあたっては現在と家族・家計状況が違う場合でも、原則前年の所得および家族数をもって推薦基準に該当するか判定いたします。

※生計を同一にする家族

同居・別居を問わず、父母（またはそれに代わって家族を支える者。以下「父母等」という）の所得により生計を共にしている家族を言い、所得証明書上で父母等の扶養家族となっていることを前提とします。ただし、本人に収入があり、父母等の扶養家族でない場合でも、生計を同一にしているとみなします。

(3) 「履歴」欄

- ・ 現在までの学歴（現在の卒業予定までを記入）を高校から空白期間がないように記入してください（予備校、自宅学習、休学、転学等も記入）。記入欄が足りない場合は、欄を分割して増やすか、別紙に記入するなどして省略せずに全て記入してください。

(4) 「志望理由書」欄

- ・ 家計状況、大学での目標や志を交えて、出来る限り具体的に出願者本人が記入してください。
※箇条書き不可。

(5) 「誓約書」欄

- ・ 出願者・不備等各々が署名捺印をしてください。出願者および父母等欄が同一筆跡、同一印と大学が判断する場合は受付いたしません。
- ・ 誓約書欄については訂正印の使用不可。書き間違えた場合は願書の再作成をお願いします。

◆願書記入例

自宅外通学の場合は実家住所を記入。
自宅通学の場合は空欄可。

帝塚山学院大学奨学金願書

学籍番号	25L500	採用年度	2026年度
フリガナ	テヅカヤマ タロウ	生年月日	年齢
出願者氏名	帝塚山 太郎	昭和・平成 18年 5月 12日	20 歳
現住所	(〒 590 - 0113) 大阪府堺市南区晴美台4-2-2	自宅電話(072) 携帯電話(090)	自営業者の場合、車塗装業等自営の内容が分かるように具体的に記入すること。
家族住所	(〒 580 - 8585) 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51	自宅電話(06) 66	

本人・父母等(家計を支える者)	続柄	氏名	年齢	上記家族住所に同居・別居	現在の職業	令和7年度所得金額	合計欄に合算した金額を記入すること(千円未満は切り捨て)。
	本人	帝塚山 太郎	20	同・別	学生	0千円	
父	帝塚山 一郎	60	同・別	会社員	4,000千円		
母	帝塚山 花子	55	同・別	パート	500千円		
※父母どちらかが不在の場合 事由：死別・離婚・その他() 発生年月：昭和・平成・令和 年 月							
生計を同一にする家族(就学者以外)	続柄	氏名	年齢	上記家族住所に同居・別居	現在の職業	父母と死別・生別の場合は、その事由と発生した年月を記入すること。	
	祖父	帝塚山 一男	85	同・別	無職	令和8年4月～就職	
	祖母	帝塚山 良子	80	同・別	無職		
	(兄)	帝塚山 太一	22	同・別			
			同・別				
就学者	続柄	氏名	年齢	上記家族住所に同居・別居	国公・私立の別	在学学校名	現在と前年の扶養状況が異なる場合は、その対象者の続柄をカッコ書きし、備考欄に理由を記入すること。
	姉	帝塚山 桜	21	同・別	国立 私立	帝塚山学院大学3年	
	妹	帝塚山 百合	16	同・別	国立 私立	帝塚山学院高等学校2年	
				同・別	国立・私立		
				同・別	国立・私立		

前年と現在の生計を同一にする家族数が異なる場合(家族の就職等)、願書には前年の所得証明書の扶養人数と一致するように家族欄を記入してください。ただし、現在の扶養状況がわかるように、前年と現在の扶養状況が異なる家族は備考欄に理由を記入すること。

出願者本人の2026年3月末の累計 GPA 値を確認の上、記入すること。

2026年3月末累計GPA値	(3.5) ≥ 2.0
----------------	---------------

現在受給中の全ての奨学金について記入すること。記入欄が足りない場合は、欄を分割して増やすか別紙に記入すること。

奨学金 受給状況	日本学生支援機構 (第一種) (54,000 円/月) ・ (第二種) (100,000 円/月)
	その他(貸与型) (支給先: あしなが育英会 (50,000 円/月))
	その他 給付型 (支給先: (円/月))

日本学生支援機構奨学金の貸与・給付を受けている場合は、第一種、第二種、給付のいずれかにマルをつけ、カッコ内に貸与・給付月額を記入してください。その他の奨学金を受けている場合は、貸与型もしくは給付型にマルをつけ、それぞれカッコ内に支給・受給先名称と貸与・給付月額を記入してください。

履歴	国公立・私立の別	学校名	入学年月	卒業年月
歴	国公立 (私立)	帝塚山学院 高等学校	令和4年4月	令和7年3月卒業
	国公立 (私立)	帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科	令和7年4月	令和11年3月卒業見込み
	国公立・私立		年 月	年 月
	国公立・私立		年 月	

履歴(予備校、自宅学習、休学、転学等を含む)を記入してください。

学歴は空白期間がないように記入すること(現在の学歴や、自宅学習等も省略せずに記入すること)。

志望理由書	志望理由は家計状況、大学での目標や志を交えて、出来る限り具体的に記入すること。 2~3行の箇条書きは避けること。	

奨学金を希望するに至った家計状況、大学での目標や志についてを交えて、出来る限り具体的に記入してください。収入が著しく少ない場合は現在どのように生計が維持されているかを記入してください。

以上のとおり記載事項に相違ありません。帝塚山学院大学奨学生としてご採用の上は奨学生としても責務を果たすことはもとより、奨学金についても誠実に使用することを下記の者と連署して誓約します。

願書を記入した日付。 令和 8年 8月 1日

出願者	フリガナ	テヅカヤマ タロウ	出願者との関係
	氏名	帝塚山 太郎	
父母等	フリガナ	テヅカヤマ イチロウ	父
	氏名	帝塚山 一郎	
	連絡先	(090) 999 - 999	

父母筆押は必ず父母筆が署名捺印してください。誓約書欄の訂正印の使用は認められません。

父母等欄は必ず父母等本人が自署押印すること(出願者による代筆・押印は不可。同一筆跡・同一印鑑と判断した場合は受付しない)。シャチハタ不可。

◆所得証明書を確認するポイント

<所得（課税）証明書 見本>

※市区町村によっては「市・県（府）民税証明書」という場合もあります。

① 年度（令和 年分所得）																																									
所得額証明書																																									
住所																																									
氏名																																									
年税額	****																																								
市民税所得割額	****																																								
市民税均等割額	****																																								
県民税所得割額	****																																								
県民税均等割額	****																																								
② 合計所得金額	****																																								
所得控除合計額	****																																								
以下余白	****																																								
所得金額の内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">（老人配偶者・老人控除の合計）</th> <th colspan="2">****</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>金額</th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老人</td> <td>****</td> <td>配偶者</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>****</td> <td>配偶者特別</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>配偶者特別</td> <td>****</td> <td>扶養</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>扶養</td> <td>****</td> <td>特定</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>特定</td> <td>****</td> <td>一般</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>****</td> <td>同居特別障害</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>同居特別障害</td> <td>****</td> <td>基礎</td> <td>****</td> </tr> <tr> <td>基礎</td> <td>****</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	（老人配偶者・老人控除の合計）		****		種別	金額	種別	金額	老人	****	配偶者	****	一般	****	配偶者特別	****	配偶者特別	****	扶養	****	扶養	****	特定	****	特定	****	一般	****	一般	****	同居特別障害	****	同居特別障害	****	基礎	****	基礎	****		
（老人配偶者・老人控除の合計）		****																																							
種別	金額	種別	金額																																						
老人	****	配偶者	****																																						
一般	****	配偶者特別	****																																						
配偶者特別	****	扶養	****																																						
扶養	****	特定	****																																						
特定	****	一般	****																																						
一般	****	同居特別障害	****																																						
同居特別障害	****	基礎	****																																						
基礎	****																																								
給与等の収入金額																																									
公的年金の収入金額																																									
繰越損失金額	****																																								
上記のとおり相違ないことを証明します。																																									
平成 年 月 日																																									
市長																																									

① 令和8年度（令和7年分）であることを確認してください。

② 合計所得金額を確認してください（収入金額ではありません）。

③ 所得控除の内訳（各控除額、扶養人数等）が記載されていることを確認してください。

母子（父子）家庭の場合は、寡婦（寡夫）控除の記載があるか確認してください（ただし、要件に当てはまらない場合は控除がない場合もあります）。

【注意事項】

- ・市区町村によって書式や表記は異なります。
- ・所得（課税）証明書を申請する際は、所得控除の内訳が記載されるよう依頼してください。依頼しないと記載されないことがあります。
- ・所得の内訳欄に「収入金額」の記載がありますが、その金額ではなく、あくまでも「所得金額」を確認してください。合計所得金額がマイナスの場合は、「0円」と記入してください。
- ・昨年の所得がない場合、所得証明書の代わりに「非課税証明書」が発行される場合があります。その場合も、所得証明書と同様に、所得金額（0円）と所得控除の内訳が記載されているか確認してください。
- ・市・府民税の申告をしていない等で、上記②、③の項目が未記載の場合、申告後に再発行した証明書を提出してください。
- ・所得金額が****表記のものは、市区町村等が申告者の所得を把握していない旨の記載であり、所得が0円の証明ではありませんのでご注意ください。